



みくも

No. 2
令和7年(2025年)5月1日
湖南省立三雲小学校
TEL 72-0025 児童数532名

自分の命・安全は、自分で守ろう

校長 鈴木 朋美

新年度が始まって1週間ほど経った4月15日(火)・16日(水)に、避難訓練と、登校時の道路の横断の練習を行いました。いずれも、自分で自分の命・安全を守るために大事な活動です。やっただけで終わらずに、学んだことをこれからの生活で生かしていってくれることを願うとともに、学校でも折に触れて、子どもたちが安全を意識して生活できているか振り返る機会をつくりたいと思います。

避難訓練 4月15日(火)

1年生が入学し、2年生以上の児童も新しい教室で学習することになり、災害が起こったときに、その教室から避難する際の経路を知ることが第一のめあてとして、避難訓練を行いました。校内で火災が発生したことを想定し、今回は教師が先導してそれぞれの教室から運動場へ避難しました。ハンカチや手で口をふさぎ、煙を吸わないように考えて行動する児童の姿も見られました。「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」を守り、真剣に訓練に臨むことができていました。

講評の中で、災害が起こったときや、避難するとき、みんなで集まったときには、自分の命を守るための必要な情報を得なければならない場面もあるため、「口を閉じて話を聞く」ということが大切であるという話をしました。そして、そのような非常時に、自然にそういった行動がとれるように、日頃から人の話や放送を静かに聞くことを心がけるよう、伝えました。



道路横断の練習 4月16日(水)

今年度も、4月10日(木)から新1年生も入っての分団登校が始まりました。

4月16日(水)5校時には、地区別児童会を行い、集合時刻や集合場所等の確認をしたり、登校時のめあてを決めたりしました。その後、横断歩道の線を引いたり、信号機が設置されたりした運動場に出て、全ての分団が実際に道路を横断する練習をしました。

分団長が腕を広げて旗を出し、分団の児童は列の間を空けずにスムーズに渡ることを意識しました。分団長、副分団長だけでなく、全ての児童一人ひとりが気をつけて安全に登校してくれることをいつも願っています。そして、見守ってくださっている方々に感謝の気持ちが伝わるように元気に挨拶ができる児童に育てていきたいと考えています。



ありがとうございました

～学習参観・地区別懇談会・学年懇談会～

4月25日(金)の5校時に、今年度初めての学習参観を行いました。子どもたちは少し緊張気味であったり、うれしそうな表情を見せていたりしましたが、どの子も頑張っているところをお家の方に見てもらおうと張り切っているようでした。保護者の方も教室に入りきれないぐらいたくさん参観してくださっていました。

参観後には、地区別懇談会が行われました。各区長さんにもご来校いただき、PTA地区長さんの進行のもと、各地区の通学路の危険箇所について話し合われました。子どもたちが安全に登下校ができるよう、これまでに少しずつ改善はされていますが、それでもまだ保護者の方の多くの目で見えなくて危険と思われる箇所はあります。この地区別懇談会であがってきた危険箇所は、今後、校内で3箇所に絞り、市に対策を要望していきます。

そして、この日の最後に学年懇談会を行いました。担任から、学年目標や指導の重点、保護者の方にお願したいことなどについて話をしました。新年度が始まってからこれまでの子どもたちの様子をテレビの画面に映し、保護者の方に学校生活の一場面を見ていただいた学年もありました。学年懇談会での担任からの話にご理解いただき、これからも様々なことにご協力くださいますよう、お願いいたします。



学習参観



地区別懇談会



学年懇談会



ポレポレ子育て応援講座

(※ポレポレとは、スワヒリ語で「ゆっくり ゆっくり」という意味です。)

子育て中の保護者の方に、日々の生活をより豊かにできるヒントをお届けできればということで、今年度も家庭教育支援員さんが計画してくださり、学習参観の前に「ポレポレ子育て応援講座」が開催されました。滋賀県教育委員会スクールソーシャルワークスーパーバイザーの上村文子先生をお招きし、「子どもの心のサインと対応～ひと工夫で笑顔が増える子育て～」と題してご講演いただきました。子どもへの期待はどんどん高まっていますが、大切なことは「あたり前」の頑張りや光を届けることで、心地よくその行動がとれるように言葉かけや対応を工夫することが大切であると話されました。また、叱るときには、大人が落ち着くことが大前提で、6秒我慢すると人は落ち着くことができるということや、短い言葉で顔を見てプラスの言葉をかけることなど、子どもへの接し方について具体的に教えてくださいました。

今まで ありがとう

毎朝多くの方が子どもたちの登校を見守ってくださっています。ラブラドルレトリバーの「サリー」も、7年間家棟の交差点で見守ってくれていましたが、2月に天国に旅立ったとのことでした。サリーに癒やされ、学校に向かっていた子もいたのではないのでしょうか。サリー、今までありがとう。

